



JAMCA ニュース

No.94

2017年7月1日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

今後の自動車技術者の人材育成の方向性について

トヨタ東京自動車大学校 理事・校長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

松浪 良樹

常日頃より関係省庁はじめ関係企業の皆様には大変お世話になっており、誠に有難うございます。また各校におかれましても優秀人材の育成にご尽力頂き改めて御礼申し上げます。

さて、我々を取り巻く環境変化ですが少子化の進行、大学進学率の高止まり、若者の車離れなど従来からの逆風に加えて昨今は大企業からの高卒者求人数の急増といった新たな嵐に見舞われている募集環境にあります。他方、就職活動については各企業の旺盛な求人環境の中、多くの学生が希望する企業への就職を果たしており、各校ともに「就職は良いが募集が厳しい」状況下にあるものと思います。

また4月に発表となった国家一級自動車整備士筆記試験の全国平均合格率をみると近年には無い位の低合格率でした。募集環境が厳しさを増している中での合格率低下は今後自動車整備士を目指す中高生にとっても、我々にとっても更なる逆風となってしまうものと大変危惧しています。

次に自動車整備士を中心とする自動車技術者の育成の今後の見通しについてですが、小職としては今後高校卒業予定者の中で①就職あ



るいは専門学校への進学検討者、②大学進学検討者の2極化が進行するものと考えます。

①のグループはこれまでの専門学校への進学者であり、進学学科も主に国家二級取得を目指す2年課程です。このグループの若者は社会で即戦力として通用する技術を出るだけ短期間で取得し早く活躍したいと考えている人達と考えられます。理由のひとつに経済的な側面もあることでしょう。統計によれば18歳人口の16-17%程度が専門学校進学と言われています。

②のグループは技術や知識をさらに追求し、高学歴や学士にも拘りをもった人たちのグループです。こちらは18歳人口の50-60%と考えます。もちろん進路には多くの分野がありますので一概には言えませんが、このグループには今後更に技術開発と社会への普及が進

展するであろう自動運転やITSなどのスマートモビリティ関連業界で幅広く活躍したいと考えている人達も含んでいます。我々人材育成機関としてはこれら①と②のグループに対して異なったアプローチが必要と考えています。また入学後の人材育成についてもそれぞれの特色を明確にすることが今後益々重要となるのではないのでしょうか。

当校では何年か前からこのような考えに基づき、仕組み作り、設備投資、職員体制充実等進めてきましたが更に進化、発展させる必要があると考えています。今後の技術の進歩、社会インフラの充実や各分野での制度設計等も進展するかと思いますのでスマート社会を担う人材の育成について、各校独自の対応だけでなく、協会各校、関係省庁、そして産業界と一丸となって、とりわけ大きなグループである②への対応強化が求められる時期に来たのではないかと強く思う次第です。

CONTENTS

2面	新型ディーゼルエンジンの技術と未来
3面	クルマ大好き!、活躍!!女子!卒業生
4面・5面	職業実践専門課程では企業等と連携した実践的な教育が魅力! 会員校の取り組み紹介
6面・7面	協会トピックス・地区通信
8面	私の教材活用・お知らせ・編集後記